

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.77 英語指導助手招請事業			担当課	指導課			予算費目名	款 10	項 01	目 02
事業概要 及び目的	英語教育、国際化社会に対応する教育を実現するために、各中学校、小学校及び幼稚園に英語指導助手の招請（9名）、配置する。（*計画当初の「派遣」という語は、「配置」の意味であることから、以後置き換えることとする。）			成果指標 英語指導助手の配置の人数	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度		
					予算額（単位：円）	29,897,000	40,452,000	35,024,000	29,282,000		
					決算額（単位：円）	25,371,634	35,668,906	27,693,328			
					従事職員数	1	1	1			
事業の 位置づけ	章 1	豊かな人間性と暖かさを育むまち		★左記施策（号）との結び付き 母国語としての英語の発音にふれ、外国の異文化を理解することは、国際化を推進する上で重要な役割を担っている。	従事延べ日数	70	70	70			
	節 1	豊かな人間性を育む教育の推進			民間活力の導入	現状は？：■実現している □将来可能性はある □将来困難だが可能性はある □余地なし					
	項 2	次代をひらく学校教育の充実				相手は？：□市民 □市民活動団体 ■企業・学校等					
	号 2	小中学校教育の充実				形態は？：業者委託					

2. 進捗状況

				平成 21 年 7 月 23 日記入					平成 22 年 5 月 28 日記入					平成 23 年 4 月 13 日記入										
年度	21 年度評価（20 年度実施した事項についての評価）								22 年度評価（21 年度実施した事項についての評価）								23 年度評価（22 年度実施した事項についての評価）							
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由										
完了した事項	・中学校に 7 名の英語指導助手を配置した。 ・小学校に 2 名の英語指導助手を配置し、国際理解教育等の指導を行った。			英語や外国人に接することは国際理解教育において重要なことであり、社会に対応できる力をつけるために英語指導助手を公教育で配置することは不可欠である。	・中学校に 7 名の英語指導助手を配置した。 ・小学校に 4 名の英語指導助手を配置し、外国語活動及び国際理解教育等の指導を行った。 ・幼稚園への配置の廃止。			英語や外国人に接することは国際理解教育において重要なことであり、社会に対応できる力をつけるために英語指導助手を公教育で配置することは不可欠である。	・中学校に 7 名の英語指導助手を配置した。 ・小学校に 4 名の英語指導助手を配置し、外国語活動及び国際理解教育等の指導を行った。			英語や外国人に接することは国際理解教育において重要なことであり国際社会に対応できる力を一層高めるために、英語指導助手を効果的に配置することは不可欠である。												
継続している 事項	・小中学校への配置。 ・要請のあった幼稚園に英語指導助手を配置。								・小中学校への配置															
未着手事項																								
改善案	・学習指導要領改訂による小学校への英語指導助手の補充。 ・中学校英語指導充実のために、配置の体制を検討する。				成果指標 実績値 100% 達成率 100%	・英語指導助手の配置の体制及び契約形態についての検討。			成果指標 実績値 122% 達成率 100%	・英語指導助手の配置及び契約形態について改善を図った点についての効果の検証。			成果指標 実績値 122% 達成率 100%											

3. 今後の方向性

		※課内協議を経て管理職が記入してください。				平成 21 年 7 月 30 日協議実施				平成 22 年 6 月 7 日協議実施				平成 23 年 4 月 18 日協議実施										
今後の方向性	*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか？なぜその「コストの方向性」をえらんだか？別紙「評価の視点」を参照してください。	成果の方向性	拡充							成果の方向性	拡充													
		現状維持				○				成果の方向性	現状維持				○									
		縮小								縮小														
		休廃止								休廃止														
		休廃止 縮小 現状維持 拡充 コストの方向性				休廃止 縮小 現状維持 拡充 コストの方向性				休廃止 縮小 現状維持 拡充 コストの方向性														
		★上記を選択した根拠 学習指導要領改訂に伴い、国際化社会に対応した教育実現のため重要事業であり、児童生徒の能力を伸ばすためには現状の維持が最低不可欠である。								★上記を選択した根拠 学習指導要領改訂に伴い、国際化社会に対応した教育実現のため重要事業であり、児童生徒の能力を伸ばすためには現状の維持が最低不可欠である。														
方向性を実現するため実施すること （改革案）	新規英語指導助手を採用する際の面接等の強化、採用基準の明確化と採用後の研修の充実を図る。契約方法の変更、現在の競争入札制度からプロポーザル方式への変更。 また、幼稚園への配置を中止し、中学校での英語指導の充実を図る。								英語指導助手の現在の配置の体制及び契約形態を見直し、本市の英語教育充実に適した方向性に向けて検討・決定する。								次年度に向けて、英語教育及び国際理解教育の充実を目的として英語指導助手の配置及び契約形態の見直し及び改善を行ったため、新しい配置及び契約形態において本市の英語教育の一層の充実を図ることができるよう新しく体制を整える。							
前年度改革案の実施状況	■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。								□実施 ■一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 面接等については、民間に委託しているため引き続きの検討課題である。契約形態の変更についても今後の課題となっている。小学校での英語活動の充実及び幼稚園への配置の廃止については実施。								■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 英語指導助手の現在の配置及び契約形態を見直し、本市の英語教育充実に適した方向性に向けて検討・改善を行った。							